

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校
学校だより No.18
平成 31 年(2019 年)2 月 1 日

なぜ今、「やり抜く力」なのか

武村 節子

長期的に見ると、才能よりも情熱と粘り強さからなる「やり抜く力」が成功の鍵

長らく日本の学校教育では学力が重視されてきました。ところが社会に出て要求されるのは、学力に限らない様々な資質や能力です。過去にも「心の知能

(E Q)」が注目された時代がありましたが、また今注目されつつあります。

主体的・対話的・深い学びの学習は新学習指導要領の掲げるところです。書店では、米国心理学者アンジェラ・ダックワース著「やり抜く力 GRIT (ダイヤモンド社)」が日本で販売部数 31 万部を記録しました。長期的に見ると才能よりも情熱と粘り強さからなる「やり抜く力」が成功の鍵という研究結果が、若手の育成に悩むビジネスマンや教育関係者・受験生ら幅広い世代に響いたからだそうです。今まで点数化・数値化することが困難で、過小評価されがちだった非認知能力といわれる「やり抜く力・忍耐力、コミュニケーション力・共感力、自尊感情・意欲」などがわかりやすく数値で示されています。また、OECD のレポートではこれらの非認知能力は、幼児期から伸ばしていけるという研究結果にもとづく社会実験で、追跡調査の結果 40 歳の時点で学歴や収入などで社会的・経済的に安定し心身の健康につながる可能性が非常に高いそうです。

日本の学校教育の良いところは、学力だけでなく掃除や感謝、人に迷惑をかけないなど、このような能力を高めるための仕組みが古くから備わっていて教員の情熱も色濃く存在し、子どもたちの資質を高めようとしてきたことです。この良さが個々の子どもたちの能力を引き上げる基盤にないと、学力を向上させることはできないと思います。人を育てる基盤として、また、学力に加える指標として昔から大切だと言われてきた「やり抜く力」が、この能登川西小学校にも必要な力であると、2 年間子どもたちを見てきて思いました。これからの時代を生き抜くには不易の力だと私は思います。

2020 年度の大学入試改革にむけて入試でも主体性重視

主体性を評価するのは、難しいと言われていますが、大学入試では昨年から「JAPAN e-Portfolio (JeP)」の運用が始まったそうです。

高校生は、1 年生から自分の「学びの記録」を「e ポートフォリオ」に入力していきます。入力できるのは部活動・学校行事など 8 分野で、たとえば球技大会では、実行委員をしたとか振り返りや結果・賞状のコピーまで添付でき、必要に応じて大学の出願時にネット提出できます。2018 年度は 100 越えの大学が受理、参考・統計に活用しているとのことです。そのまま可否には直結しませんが、面接時の材料になるとのことで、今後増えていくと思われます。

そもそも、日本人は主体性が苦手です。教育評論家の尾木直樹さんが言っておられましたが、ハンガリーの歴史の試験は、先生を前に「出されたテーマに 5 分間のプレゼン」だそうです。何が出されるかは範囲しか分からずテスト勉強に時間はかかるけど、そうしないと学べないと学生も納得しているそうです。先生のひいきも入るかもしれませんが、それを逆手にとって何を言えばこの先生は喜ぶか反応を見ながら考えるそうです。そこまではいきませんが、有名中学校では、入試問題が答えのない問題に変わりつつあります。受験生の人数分だけいく通りもの答えがある。能登川西小学校でも 6 年生算数の統計の授業がまさにそうでした。ある視点から見ると答えは A であり、違う視点から見ると B ともいえる。必要な力は、いく通りもの考えを友だちの意見を聞きながら自分で見つけてプレゼンすること。しかしそのためには平均やパーセントを正確に出す基礎学力はもちろん必要です。まずは、子どもたちの基礎学力の向上に力を入れていきたいと思います。保護者の皆さまのご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



1月のスクールライフ紹介

☆書き初め展 1/16~25



☆百人一首に挑戦 1/15~2/6



今年も校長室で暗唱をしています。5首合格したら次の5首合格へと、どんどん覚えて言える子が増えてきました。

☆1年生 むかしあそび交流 1/22



能登川地区老人クラブ 17 名の方々に講師をお願いして、たけうま、こま、だるまおとし、けんだま、あやとり、おてだま、と一緒に体験しながら教えていただきました。地域の方と交流することで世界も広がります。やさしく親切に教えていただき、ほっとする温かな時間でした。

☆3年生 昔の暮らし体験 1/18



社会科で能登川博物館に行きました。火のし、こたつ体験では、アイロンと回転式あんかを体験しました。七輪での火起こしは、煙で目が痛かったのですが、お餅を焼きました。和室では、火打ち石や明かり見学をしました。

☆給食感謝週間 1/21~25



給食でいつもお世話になっているお礼と食べ物への感謝を込めて、栄養士さん、労務員さん、給食配膳員さんを教室に招いて一緒に給食を食べました。プレゼントも渡しました。1年生は、食育で安田栄養士からお箸の使い方を教えてもらいました。

☆5・6年生 スキー教室 1/25



晴天に恵まれ、気持ちの良いスキー教室を行うことができました。積雪量が少なく心配したのですが、受け入れ学校数が少ない日でゲレンデを広く使うことができました。

ボランティア講師さんは、まずは服装チェック、ブーツのしまり具合、スキーの部分の名前など基礎から教えてくださり、高学年なので理論的に体重のかけ方なども教えてくださいました。

初心者も上から下へは直滑降やボーゲンで滑れるのですが、かに歩きで横に上るのに一苦労をしていました。しかし、思ったように滑れるようになると帰る間際まで滑っているなど、楽しかったようです。良い思い出ができました。保護者の皆さまには、準備などご用意ありがとうございました。

☆5年生 ヨシ学習 1/18



淡海環境保全財団のヨシ環境学習推進事業の一環で琵琶湖の環境保全について学んでいます。今回は、刈り取ったヨシを使ってよしずを作りました。いよいよ1年間の総合的な学習のまとめです。

☆4・5年生 情報モラル教育 1/24



教育委員会の前川指導主事を講師に、スマホやゲームとの正しいつきあい方を教えていただきました。サイバーポリスがいて決して匿名でないこと。インターネットは世界につながっていること。スマホで撮った写真には位置情報が組み込まれていて顔をアップすると人の特定や住んでいる場所が分かること。

また、5年生対象の学習では、書き込んだ悪口は誰が書いたかが特定されること、就職や結婚など人生における大事な場面で出てくることが、ゲーム障害という病気があることを学びました。便利なものですが使い方に気をつけて、ご家庭でもルールを決めていただけたらと思います。